

都市再生整備計画 事後評価シート

富山市中心市街地地区(第4期)

(原案)

令和8年2月

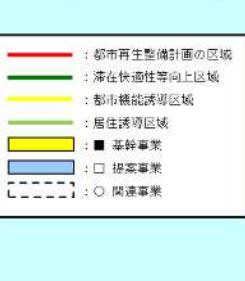
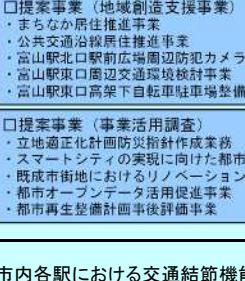
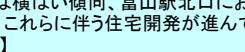
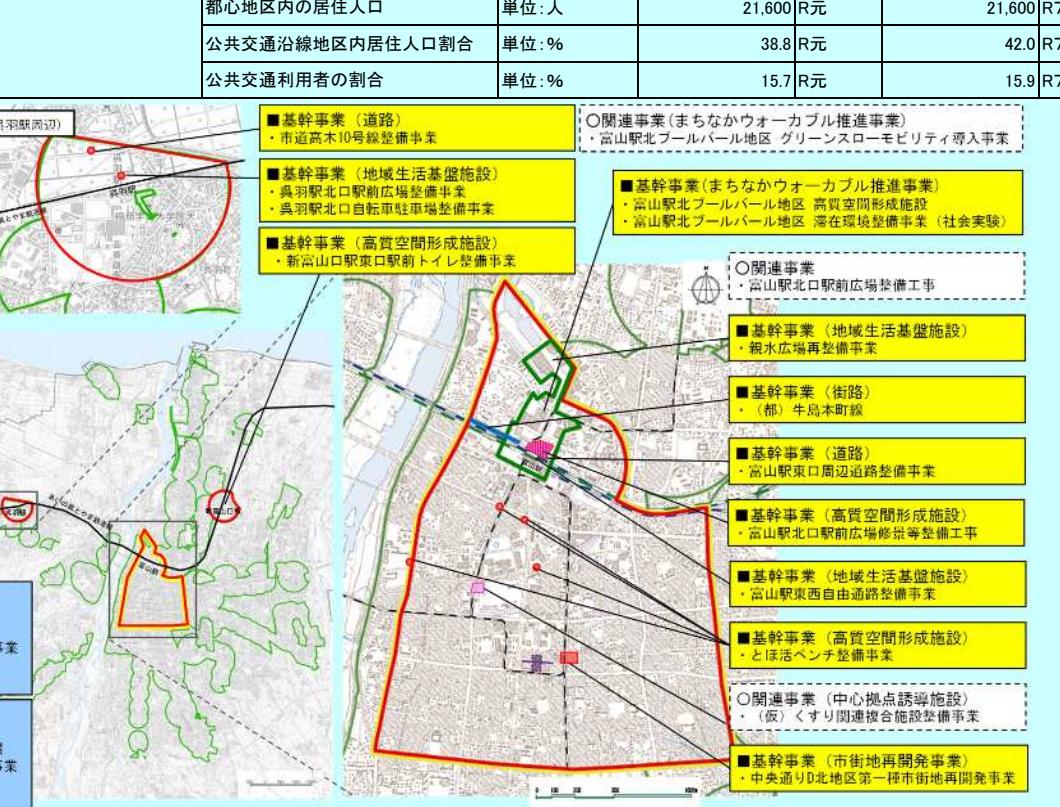
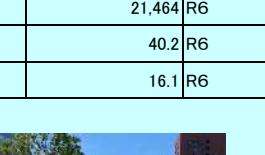
富山県富山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県	市町村名	富山市	地区名	富山市中心市街地地区(第4期)			面積	571 ha			
交付期間	令和3年度～令和7年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	7,543.4百万円	国費率	0.5／0.498					
事業名												
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 (都)牛島本町線、まちなかベンチ整備事業(とほ活ベンチ整備事業)、富山駅北口駅前広場修景整備工事、中央通りD北地区第一種市街地再開発事業 提案事業 まちなか居住推進事業、富山駅北口駅前広場周辺防犯カメラ設置事業、立地適正化計画防災指針作成業務										
	当初計画から削除した事業	事業名										
		基幹事業 城址公園整備事業 提案事業 将来都市構造を見据えたまちづくり検証、歩きたくなるまちなか形成検討業務	削除/追加の理由									
	新たに追加した事業	市道高木10号線整備事業、富山駅東口周辺道整備事業、親水広場再整備事業、富山駅東西自由通路整備事業、呉羽駅北口駅前広場整備事業、呉羽駅北口自転車駐車場整備事業、とほ活ベンチ整備事業、新富山駅東口駅前トレイ整備事業(高質空間形成施設)富山駅北プールバール地区、(滞在環境整備事業)富山駅北プールバール地区「富山市・プールバールエリアマネジメント富山」	事業計画見直しにより追加する。 まちなかウォーカブル推進事業との一体化により事業を追加する。									
		公共交通沿線居住推進事業、富山駅東口周辺公共交通環境検討事業、富山駅東口高架下自転車駐車場整備事業、スマートシティの実現に向けた都市的指標調査業務、既成市街地におけるリノベーション検討事業、都市オーブンデータ活用促進事業、都市再生整備計画事業事後評価事業	事業計画見直しにより追加する。									
		交付期間 の変更	当 初 なし	交 付 期 間 の 変 更 による 事 業 、 指 標 、 数 値 目 標 へ の 影 韶	—							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目 标 達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ予定期		
	指標1	路面電車の一日常平均乗客数	人/日	19,300	R元	21,200	R7	モニタリング	評価値	あり	富山駅周辺整備事業等により、公共交通の利便性と魅力の向上が図られ、路面電車の利用者の増加に効果があった。	令和8年8月末
	指標2	中心商店街地区及び富山駅周辺の歩行者通行量	人/日	59,000	R元	59,000	R7	モニタリング	評価値	あり	各種事業は進捗しているが、再開発事業が事業中であることや評価時点の降雨の影響があり、歩行者通行量の維持につながるまでの施策の効果は見られなかった。	令和8年6月末
	指標3	都心地区内の居住人口	人	21,600	R元	21,600	R7	モニタリング	評価値	あり	各種事業は進捗しているが、自然減の影響が大きく、また再開発事業が事業中であり、都心地区的居住人口の維持につながるまでの施策の効果は見られなかった。	令和8年6月末
	指標4	公共交通沿線地区内居住人口割合	%	38.8	R元	42.0	R7	モニタリング	評価値	あり	良好な住環境の形成等が図られ、指標は増加傾向にあるが、自然減の影響が大きく、公共交通沿線地区内居住人口割合の目標値に届くまでの施策の効果は見られなかった。	令和8年6月末
	指標5	公共交通利用者の割合	%	15.7	R元	15.9	R7	モニタリング	評価値	あり	市内各駅における交通結節機能の強化等により、公共交通の利便性の向上が図られ、公共交通利用者の増加に効果があった。	令和8年6月末
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目 标 達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ予定期		
	その他の数値指標1	富山駅周辺地区(北口)の歩行者数	人	2199	R元	6,289		モニタリング	評価値	あり	富山駅北プールバール地区的整備により、北口周辺のイベント等によって多くの人が集まり、賑わいが創出されたり、施策の効果が見られる。	令和8年6月末
	その他の数値指標2	都心地区的転出入人口における社会増	人	+483	R元	+108		モニタリング	評価値	あり	都心地区的転入・転出手口の差による社会増は継続しており、施策の効果が見られる。	令和8年6月末
	その他の数値指標3	沿線居住推進地区的転出入口における社会増	人	+498	R元	+598		モニタリング	評価値	あり	公共交通沿線地区的転入・転出手口の差による社会増は継続しており、施策の効果が見られる。	令和8年6月末
	その他の数値指標4	中心商店街地区及び富山駅周辺の地価公示価格	円	388333	R元	420,000		モニタリング	評価値	あり	都心地区的3箇所の地下公示価格の平均値が上昇しており、エリア価値の向上が図られ、施策の効果が見られる。	-
4)定性的な効果発現状況	トータルデザインによる富山駅周辺整備事業等により、富山駅周辺や富山駅北プールバール地区における質の高い都市景観の形成、及び歩いてまちなかを回遊しやすい環境整備が進んだ。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等							
	モニタリング		①中心商店街地区及び富山駅周辺の歩行者通行量について、毎年同時期に調査を実施 ②都市の指標調査業務によるモニタリング		①引き続き中心市街地における歩行者数の調査を行い、賑わいの変化に注視していく。 ②引き続き都市の指標調査業務によるモニタリングを実施し、地区内の施策効果の発現状況を注視していく。							
	官 民 携 搭 による 取組		①とやま まちなかマーケット「越中大手市場」の開催(富山市、大手モール振興会、地域、市民が協働で立ち上げた市民運営の定期市) ②プールバールエリアマネジメント富山による各種イベントの開催		①引き続き中心市街地における地域の人々の暮らしに溶け込んだ賑わいとコミュニケーションを創出する取組として活動の活性化を促していく。 ②引き続き主体的に連携、活動し、新たな賑わいの創出を図るとともに、周辺エリアの価値やロイヤルティを高めることを目的に活動していく。							
	持続的なまちづくり体制の構築		①株式会社市民プラザによる推進体制の構築 ②一般社団法人トヤマチミライの設立		①引き続き都市利便進協定や道路占用許可基準の特例の活用により、民間活力を活用した地域の賑わいの創出と利便性・快適性の向上を図っていく。 ②構成会員や関係者等を増やしながら体制や取組を充実させており、引き続き富山駅周辺エリアの未来ビジョンの実現に向け取り組んでいく。							

様式2-2 地区の概要

富山市中心市街地地区(第4期)(富山県富山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標ー1 “車がなくても移動しやすい街”の形成 目標ー2 “人や文化、産業が交流する街”の形成 目標ー3 “住みたい・住み続けたい街”の形成	路面電車の一日平均乗客数 中心商店街地区及び富山駅周辺の歩行者通行量 都心地区内の居住人口 公共交通沿線地区内居住人口割合 公共交通利用者の割合	単位:人/日 19,300 R元 59,000 R元 21,600 R元 38.8 R元 15.7 R元	単位:人/日 21,200 R7 59,000 R7 21,600 R7 42.0 R7 15.9 R7	単位:人/日 21,212 R6 53,664 R6 21,464 R6 40.2 R6 16.1 R6
 市道高木10号線整備事業				
 呉羽駅北口駅前広場整備事業				
 呉羽駅北口駅自転車駐車場整備事業				
 新富山口駅東口駅前トイレ整備				
				
 高質空間形成施設 滞在環境整備事業(社会実験) (まちなかウォーカブル推進事業)				
 (都)牛島本町線				
 富山駅東西自由通路整備事業				
まちの課題の変化	<p>【達成されたこと】 富山駅周辺整備事業や市内各駅における交通結節機能の強化等により、利便性やアクセシビリティの向上が図られ、公共交通利用者が増加している。また、富山駅周辺整備事業や富山駅北フルバール地区の整備等により、歩行者通行量は富山駅南北で横ばい傾向、富山駅北口においては増加傾向となっている。北口周辺のイベントでも多くの人が集まり、賑わいが創出されている。さらに、まちなか居住に関する施策が展開され、市内各駅における交通結節機能の強化が図られ、これらに伴う住宅開発が進んでいることから、都心地区及び公共交通沿線居住推進地区における社会増が継続している。</p> <p>【残された未解決の課題】 歩行者通行量は、雨天の影響もあり中心商業地区では減少傾向となっており、中心商業地区周辺における賑わいの維持・魅力創出に向けた拠点形成や景観形成が求められる。また、都心地区を中心として、居住人口の増加に向けた住宅の供給や既存住宅の利活用が求められる。</p>			
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>【効果を持続させるための基本的な考え方】 富山駅周辺整備事業では、より一層の交通結節機能の強化に向けて、駅東口周辺における整備を推進する。また、市民の日常的な滞留空間の創出や賑わいの拠点としての確立を目指し、富山駅南北エリアの一体的な利活用を図る。</p> <p>【改善策の基本的な考え方】 中心商業地区周辺における賑わいの維持・魅力創出に向けて、既存ストックを活用しながら新たな交流拠点の形成を図る。また、富山駅から中心商業地区への回遊性の向上に資するように、まちなかの魅力を高め、歩きたくなる街路景観の形成を図る。引き続き、再開発事業を推進し、良質な定住基盤の創出を図る。また、事業者や住民に対して定住化を促進するためのソフト的な支援を実施する。</p>			